

第59期 報告書

2021年 1月 1日～
2021年12月31日

「世の中にない」「真に役立つ」
それが、私たちの研究開発の出発点です。

経営理念

1. 人を育てる
2. 技術を育てる
3. クリーン、ヘルス、セーフティの分野で新市場を育てる

事業領域



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第59期報告書をお届けするに当たり、ご挨拶申し上げます。



代表取締役副社長
堀口展也

代表取締役会長
酒井眞一郎
(登記名 眞一)

代表取締役社長
村川 勉

2021年、新型コロナウイルスは変異を繰り返し、一旦は収束するかに見せた後、再び感染の増加を見せつけることを続けています。医療用マスク「ハイラック」を供給している当社といたしましても、受注量の大きな変化にどの様に対応すべきか大いに翻弄される一年となりました。

国は外国製を中心に大量の医療用マスクを準備し、配布をしました。デルタ株の感染が縮小した年末には、「ハイラック」の受注も最盛期の4分の1程まで減りましたが、オミクロン株の感染急拡大により再び受注残が生まれてしまう等、対応の難しさが現状にあります。私共としましては、いずれ感染が収まることも考えての経営計画をつくらなければならない状況として慎重に判断しているところです。

一方、産業用マスクは2019年から続いてきた景気後退が、2021年秋より回復したことから対前年プラスに転じてきました。2022年には順調に回復を続けると判断しています。

他方、新型コロナウイルス感染症の蔓延によって対面営業が著しく制限されたオープンクリーンシステム「KOACH(コーチ)」の営業ですが、これが思わぬ前進を見せることとなりました。リモート営業に種々の工夫を凝らし、特に先進技術センターとの実況を混じえることで、省エネによるSDGsに貢献出来ることを含めて、対面営業よりむしろ非常に高い理解度を得られることが

判りました。決定権者に参加していただけることもあり、購入意欲への早い反応を勝ち得ることも生まれてきました。「KOACH」は余りにも革新的技術であるため、決定権者から理解を得るのが難しい商品でしたが、リモート営業がその壁を打ち破り、ようやく大きな成功を確信する手懸かりを得たと思っています。

さらに社会の変動が当社に影響を及ぼしているのが、サプライチェーンの崩壊と値上げ問題です。かなりの部品や材料で供給停止や値上げの宣告があり、代替材料の適格性試験に技術員の仕事の多くが獲られることとなったとともに、原価の押し上げにも遭遇しました。幸い「ハイラック」を予想以上に販売したことで、また「ハイラック」増産設備の政府からの補助金がありましたので、前年(2020年度)に近い決算となりましたが、これ等の波にどう対応するか2022年の課題になっています。社会状況や企業努力の成果を見極めながら、対応を検討することといたします。

いずれにしましても、当社は変わることなく技術開発をベースに社会貢献をするという理念を貫くことで、時代の変化にもかかわらず一層の発展を成し遂げてまいり所存です。株主の皆様におかれましては、このような状況をご理解いただき、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

2022年3月

営業の概況

当連結会計年度(2021年1~12月)の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が長期化した影響により社会経済活動は大きく制限され、厳しい経営環境が続きました。

このような状況の中、マスク関連事業においては、産業用マスクに需要回復の遅れが見られましたが、新型コロナウイルス感染症の感染者数の増加に伴い、医療機関向け感染対策用マスクの受注は期初計画を上回りました。その他事業においては、オープncリーンスystem「KOACH」で行ったオンライン形式の個別営業が奏功し、売上増に大きく寄りました。

これらの結果、売上高は102億3百万円(前連結会計年度比

0.5%増)となり、二期連続で過去最高額を更新しました。

一方利益については、原材料価格の値上がりを主因とする原価率の上昇の影響によって、営業利益9億45百万円(同16.5%減)、経常利益9億22百万円(同16.0%減)となり、前連結会計年度実績を下回りました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益については、マスク新製造設備に対する政府補助金を特別利益に計上したことにより、前連結会計年度実績を上回る8億62百万円(同2.9%増)となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

マスク関連事業

売上高 **89億 80**百万円 (前連結会計年度比1.8%減)

感染対策用N95マスク「ハイラック350型」は、新型コロナウイルス感染症の第4波及び第5波の感染拡大により医療機関の継続使用・指定購入による需要が引き続き高く推移したことに対し、増設した製造設備をフル活用して前連結会計年度を上回る製造・出荷数量で対応いたしました。

一方、産業用マスクの受注は、期後半からは前連結会計年度実績を上回る傾向を示したものの、上期の落ち込みの影響が大きく、前連結会計年度に対しては減収という結果でした。

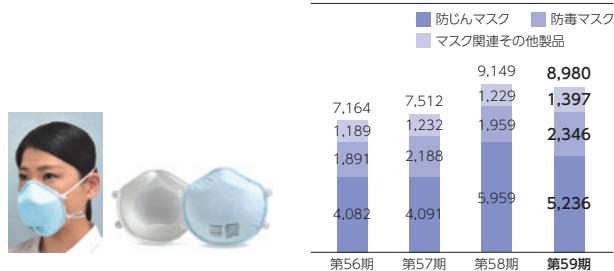
その他事業 (環境関連事業等を含む)

売上高 **12億 23**百万円 (前連結会計年度比21.9%増)

「KOACH」の販売は、当社の環境テクニカルサイト・ショールームとお客様をネットにつなぎ、実機によるデモンストレーションをライブ中継するオンライン説明会によって、成約数・成約率はともに向上し、販売台数、売上高は過去最高となりました。

自動ブラッシング機能付き内視鏡洗浄消毒装置「鏡内侍(かみないし) II G」の売上高は前連結会計年度を若干下回る結果となりましたが、「KOACH」の売上増によって当事業全体としての売上高は、三期ぶりに過去最高額を更新しました。

マスク関連事業売上高 (単位:百万円)



感染対策用N95マスク
「ハイラック350型」

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

その他事業売上高 (環境関連事業等を含む) (単位:百万円)



オープncリーンスystem
「KOACH」

内視鏡洗浄
消毒装置
「鏡内侍 II G」

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

対処すべき課題

当社グループは、企業価値の更なる向上と持続的な発展・成長を実現するために、3つの経営理念「人を育てる」「技術を育てる」「クリーン、ヘルス、セーフティの分野で新市場を育てる」を基に、それぞれの継続的課題に取り組んでおります。

【人を育てる】

多様性を受容する当社独自の人事管理制度「興研トータル人事システムHOPE(S(ホープス))」に基づき、年齢、性別、勤続年数を問わず活躍の場を与え、常に意欲のある人材を適所に登用しております。また、専門知識・能力向上を図る独自の社内研修プログラムを確立し、職分に応じて計画的、効果的に能力開発を進めております。

【技術を育てる】

創業以来、守り続けてきた「他社に追随しない」「徹底的に研究する」という研究開発の理念を技術開発員一人ひとりに徹底・浸透させるため、技術専門能力を評価するマイスター制度や技術開発員と取締役全員が参加する月例研究発表会といった独自の仕組みを継続、運用しております。

開発チームごと、プロジェクトチームを編成して開発に当たる「マトリクス型」の研究開発体制を敷いており、技術開発員は、自由で独創的な技術開発と社会に有用な発展的応用を目指した研究開発に注力しています。

これらの取り組みによって、オンリーワン、ナンバーワン製品が次々と生まれ、知的財産権も多数保有するに至っております。今後も知的財産を質・量ともに向上させ、活用することを最重要課題として取り組んでまいります。

【クリーン、ヘルス、セーフティの分野で新市場を育てる】

<クリーン>

世界最上級の清浄空間を、周りを囲うことなく短時間かつ低消費電力で形成し、実際の作業時も高い清浄度を保つことができる革新的なクリーンシステム「KOACH」を先進的技術開発を支える必須デバイスとして広く普及させ技術・生産の飛躍的進化へ貢献してまいります。

<ヘルス>

感染対策用マスクの需要の状況に応じた迅速かつ柔軟な対応を継続するとともに、新規採用された医療機関での感染対策用N95マスク「ハイラック350型」の定着及び医療分野における市場占有率の拡大に努め、安心の「ハイラック」ブランドの確立を目指します。

誰でも簡単に洗浄消毒でき、洗浄消毒スタッフの方々の負担やリスクを大幅に軽減し、検査作業等にゆとりを生み出す内視鏡洗浄消毒装置「鏡内侍ⅡG」の拡販、普及に努めます。

<セーフティ>

安全で快適な電動ファン付き呼吸用保護具「ブレスリンク」シリーズや医療機関でも採用が急増した使い捨て式防じんマスク「ハイラック」シリーズなど、安心してご使用いただける、使って喜ばれるマスクの開発・普及に努めます。

現在、厚生労働省が推進している規制・管理強化に対し、規制の枠組みの中で最高位の安全性と最大限のアイデア・工夫を詰め込んだ製品開発、大手企業から個人会社まで産業を支える労働者の方々への直接訪問や月刊情報誌(CH5ニュース)、Web(専用サイト)を活用した情報伝達を行ってまいります。また、マスクを効果的に使用していただくための作業者教育などを通し、実需の掘り起こしにつなげてまいります。

当社グループは、収束時期の見極めが困難となっている新型コロナウイルス感染症の拡大がもたらすリスク及び課題に対し、以下のような取り組みを行っております。

【マスクの生産体制】

感染対策用マスクの需要は、ワクチン接種の進展等に伴い一時縮小傾向にありましたが、変異株の発生により再び拡大するなど、新規感染者数の動向によって縮小と拡大を繰り返す1年でした。

こうした大きく変動するマスクの受注状況に対し、当社グループは、国内(中井テクノヤード・群馬テクノヤード)及びタイの生産子会社(SIAM KOKEN LTD.)において、減産・増産を機動的かつ柔軟に行い、市場の需要変化に対応しています。

【営業活動】

感染拡大に伴う行動等の制限が長期に及び中、計画的な訪問・対面営業が難しいため、Web会議等のシステムを活用した新しい営業活動を全国の営業所で推進しています。

「KOACH」の販売においては、リモートによる個別提案営業が成果につながっており、今後さらにこれらの営業手法を発展させ、顧客、代理店への効果的な営業を推進してまいります。

【社員の感染対策】

全社員は当社製N95マスク「ハイラック350型」を常時着用し、また、在宅勤務やテレビ会議を効果的かつ機動的に活用しました。

今後もコロナ禍が収束するまで、社員の感染対策を徹底し、受注から生産、出荷に至る一連のオペレーション体制の維持に努めてまいります。

財務ハイライト

売上高

(単位:百万円)



営業利益／営業利益率

(単位:百万円/%)



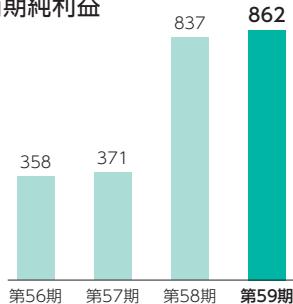
経常利益

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する 当期純利益

(単位:百万円)



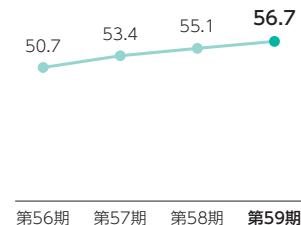
総資産／純資産

(単位:百万円)



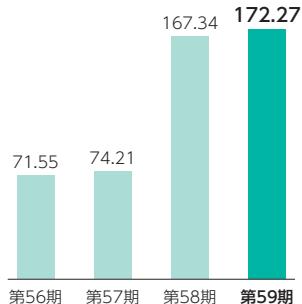
自己資本比率

(単位:%)



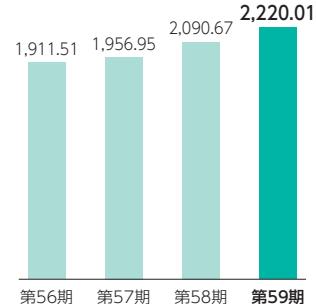
1株当たり当期純利益

(単位:円)



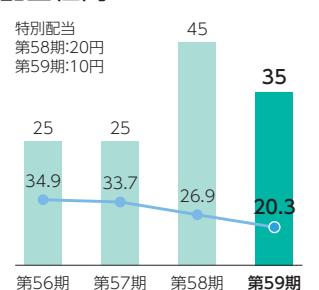
1株当たり純資産額

(単位:円)



1株当たり配当金／ 配当性向

(単位:円/%)



(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	第59期 2021年12月31日現在	第58期 2020年12月31日現在
【資産の部】		
流動資産	7,988	6,860
固定資産	11,611	12,143
① 資産合計	19,600	19,004
【負債の部】		
流動負債	4,108	4,325
固定負債	4,378	4,213
② 負債合計	8,487	8,538
【純資産の部】		
株主資本	11,109	10,474
資本金	674	674
資本剰余金	542	534
利益剰余金	10,053	9,418
自己株式	△161	△152
その他の包括利益累計額	3	△8
③ 純資産合計	11,113	10,465
負債・純資産合計	19,600	19,004

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	第59期 2021年1月1日から 2021年12月31日まで	第58期 2020年1月1日から 2020年12月31日まで
売上高	10,203	10,152
売上原価	5,556	5,261
売上総利益	4,647	4,890
販売費及び一般管理費	3,701	3,757
営業利益	945	1,133
営業外収益	48	43
営業外費用	72	78
経常利益	922	1,097
特別利益	261	0
特別損失	7	48
税金等調整前当期純利益	1,176	1,049
法人税、住民税及び事業税	280	302
法人税等調整額	34	△90
親会社株主に帰属する当期純利益	862	837

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	第59期 2021年1月1日から 2021年12月31日まで	第58期 2020年1月1日から 2020年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	655	1,373
投資活動によるキャッシュ・フロー	147	△606
財務活動によるキャッシュ・フロー	△176	△680
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	622	72
現金及び現金同等物の期首残高	1,564	1,492
現金及び現金同等物の期末残高	2,187	1,564

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

財政のポイント

- Point1 資産** 流動資産である現金及び預金の増加、電子記録債権の増加等により5億95百万円増となりました。
- Point2 負債** 長期借入金増加等に対し、流動負債である買掛金、未払金、未払法人税等の減少により51百万円減となりました。
- Point3 純資産** 利益剰余金の増加等により、6億47百万円増となりました。

改正特化則に基づく溶接ヒューム対策始まる

2021年4月1日より溶接ヒュームが特定化学物質(第2類物質)として規制され、金属アーク溶接等作業を行う多くの事業所では、改正特化則等に基づく溶接ヒューム対策が始まりました。

当社では、改正された政省令の概要や厚生労働省の告示に基づいた金属アーク溶接等作業を継続して行う屋内作業場における呼吸用保護具の選択方法などを対象事業所様へお伝えするとともに、今後需要の拡大が予想される溶接ヒューム対策に適した新製品の開発、販売を行っています。

【新たに必要となった呼吸用保護具に関する措置】

改正された特定化学物質障害予防規則等が施行されたことにより、金属アーク溶接等作業の中でも継続して作業を行う屋内作業場においては、個人ばく露測定による空気中の溶接ヒューム濃度の測定が開始されています。さらに2022年4月1日からは、この測定結果を基に、溶接ヒューム(マンガン)濃度に応じた呼吸用保護具の使用が義務付けられます。

このほか2023年4月1日からは、面体形の呼吸用保護具を使用する場合については、1年以内ごとに1回、フィットテストにより呼吸用保護具が適切に装着されていることの確認が必要となります。

【金属アーク溶接等作業で選択可能な呼吸用保護具をフルラインナップ】

金属アーク溶接等作業を継続して屋内作業場で実施する際には、空気中の溶接ヒューム(マンガン)濃度の測定結果を基に要求防護係数を算定し、その要求防護係数を上回る指定防護係数を持つ呼吸用保護具を選び使用します。

これに対し当社は、指定防護係数33を有する電動ファン付き呼吸用保護具「BL-7005」を新たに開発・市場投入しました。これにより、全てのカテゴリ(指定防護係数(10~1000))をカバーする呼吸用保護具のラインナップを完了しております。

【電動ファン付き呼吸用保護具「BL-7005」を発売】

「BL-7005」は、ろ過材性能が99.0%以上(PL2)、指定防護係数33を有するコードレス電動ファン付き呼吸用保護具で、当社独自のマイティミクロンフィルターを採用しています。

製造業や建設業などの溶接現場で導入実績の高い電動ファン付き呼吸用保護具「BL-1005(PL1)」の特徴を受け継いだ「溶接面との相性が考慮された形状」、「バッテリー搭載でも軽量」といった特長を持つ溶接作業に最適なモデルです。

実際に溶接作業用として評価が高く、売上も好調です。



電動ファン付き呼吸用保護具
「BL-7005」

「KOACH」の新たな営業手法が進捗

コロナ禍により対面営業が引き続き困難な中、当社ではリモート営業の積極的な推進を代理店と協働して取り組んでいます。

【対面営業からリモート営業へ】

実機のデモンストレーションによる体験型営業が困難になったことへの苦肉の策として始めたリモート営業(ライブ中継によるオンライン説明会)ですが、「感染リスクが回避できる、移動が伴わない、大人数の参加が可能」などを理由に好評を博し、また決定権者が参加された説明会では、小型から大型への機種変更や決済期間の短縮につながる事例も見られるなど、これまでの対面営業以上の成果もあげつつあります。

営業所員がこの一年間創意工夫して育て上げた当オンライン説明会は今後も、「KOACH」の売上を大いに押し上げてくれると期待しております。



お客様の様々なご質問に対し、実機を使っている確にこたえる当社営業所員

【販売台数はコロナ禍前を超える】

リモート営業の推進によって、見込み客からの成約率・成約数が向上し、当期の「KOACH」の販売台数、売上高はコロナ禍前の2019年実績を超える過去最高となりました。



販売台数の推移



オープンクリーンシステム
「KOACH」

通販サイト「興研ハイラックストア」をオープンしました

2021年10月、公式通販サイト「興研ハイラックストア」を開業いたしました。

新型コロナウイルス感染症の発生以降、当社へのお問い合わせが医療関係者とはもとより一般の方々からも多数寄せられました。その内容としては、ご注文や在庫・納期確認のほかに「私はアレルギー体質・化学物質過敏症なのですが今まで購入していた専用マスクが買えなくて困っています」という切実な訴えもありました。その他、「できれば公式サイトから買いたい」といった声も多数寄せられました。

現在のところ医療機関への供給を優先しているため、商品アイテム及びご注文数は3品種に限定させていただいておりますが、当社製マスクのご購入でお困りの際などは、本ストアをご活用ください。

【本ストアへのアクセス方法】

<https://koken-onlinestore.com/>

ハイラックストア

検索



【商品アイテム】



感染対策用マスク
「ハイラック350型」



一般の方向けマスク
「ハイラックNeo」



におい・防臭対策用マスク
防臭マスク「マスクーMD」

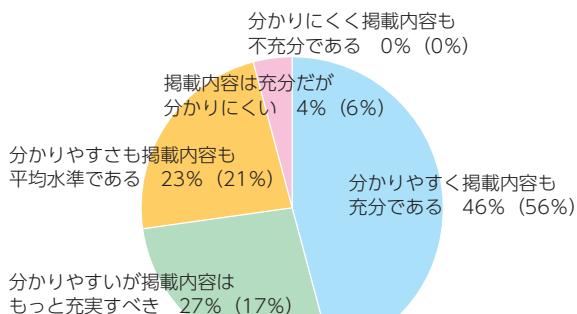
株主アンケート結果

前回「第58期報告書」にて実施した株主アンケートの集計結果をご報告いたします。当社では一つひとつのご意見を真摯に受け止め、IR活動の参考とさせていただきます。

今後ともよろしく願い申し上げます。

Q 事業報告書の掲載内容についてお聞かせください。

()内は前々回「第57期報告書」結果



Q 当社に対するご意見をお聞かせください。

御社の高性能マスクを、産業・医療分野だけでなく、一般市民用としても販売し、ブランド力の向上を図るべきだ。

種々の新たな感染症に備え、いつでも増産できる体制を整えてもらいたい。

社会に貢献できる企業として期待しています。とかくスピード重視になりがちですが、品質をないがしろにすることなく堅実な経営をされることを願います。

コロナ感染症の拡大による業績の伸びが、思ったよりも小さく感じた。更なる業績アップを達成し株主に還元してもらいたい。

業績向上に努めて増配という形で株主還元して欲しい。

業績と近い株価はあまり上昇していない。株価向上策の検討をお願いします。

株主優待制度の拡充を期待します。

など

会社概要

商号 興研株式会社 (英文社名)KOKEN LTD.
 創業 1943年(昭和18年)5月10日
 設立 1963年(昭和38年)12月12日
 資本金 674,265,291円
 本社所在地 東京都千代田区四番町7番地
 従業員数 連結297名(うち当社233名)
 上場証券取引所 東京証券取引所 JASDAQスタンダード
 事業内容 防じんマスク、防毒マスクなどの労働安全衛生
 保護具及び環境関連機器・設備の製造、販売

株式の状況

発行可能株式総数 20,000,000株
 発行済株式の総数 5,104,003株
 株主数 3,080名
 大株主(上位5名)

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
公益財団法人酒井CHS振興財団	600,000	11.85
酒井 眞 一	591,000	11.67
酒井 井 宏 之	559,400	11.05
株式会社りそな銀行	244,300	4.83
酒井 香 織	229,600	4.53

(注)持株比率は、発行済株式の総数(5,104,003株)から自己株式数(41,108株)を控除した株式数(5,062,895株)を基準に算出し、小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。

株主優待制度のご案内

当社グループでは、株主様の日頃からのご支援に対し、「株主優待制度」を導入しております。本制度は単なる物質的な株主還元だけでなく、株主様への安全、安心のご提供を目的としています。ぜひご利用ください。

▶ ご優待内容

当社製品の優先購入ができる『優先購入券(KOKEN 安全・安心チケット)』を保有株式数、保有年数に応じて贈呈。

▶ 対象となる株主様

毎年6月末日現在の株主名簿に記録されている1年以上かつ1,000株以上ご所有の株主様。

※「優先購入券(KOKEN 安全・安心チケット)1年間有効」には、100%割引と30%割引の2種類がありそれぞれ購入の上限数を設定しております。

株主優待に関するお問い合わせ先

TEL : 03-5276-1932 FAX : 03-5276-6530 e-mail : ir@koken-ltd.co.jp
 当社広報・IR室までお問い合わせください。

役員 (2022年3月29日現在)

代表取締役会長	酒井 眞 一	常勤監査役	秋山 俊 雄
代表取締役社長	村川 勉	常勤監査役	伊藤 善 博
代表取締役副社長	堀口 展 也	社外監査役	階戸 照 雄
専務取締役	村松 光 二	社外監査役	白 日 光
専務取締役	田中 文 和		
常務取締役	井端 秀 明	常務執行役員	齊藤 雄 司
取締役	長坂 利 明	執行役員	木村 一 志
取締役相談役	酒井 宏 之		
社外取締役	櫻井 し のぶ		

事業所・グループ会社

本社／東京
 先進技術センター／飯能
 テクノヤード／狭山、群馬、所沢、中井、嵐山
 配送センター／埼玉
 営業所／全国15か所
 環境テクニカルサイト／飯能(先進技術センター内)
 KOACHショールーム／名古屋、大阪、広島、九州
 連結子会社 SIAM KOKEN LTD. / タイ王国チョンブリ県

▶ ご優待品(当社製マスク)



感染対策用マスク
 「ハイラック」シリーズ

火災・特殊災害避難用マスク
 「ライフマスター」シリーズ



優先購入ができる製品類

「世の中にない」「真に役立つ」が、私たちの研究開発の出発点

「世の中にない」「真に役立つ」を研究開発の出発点とし、「大きい企業」ではなく、規模の拡大はゆっくりであっても、世界にない、当社にしかできない「オンリーワン」「ナンバーワン」の技術・製品をもつ「強い企業」＝「技術立社」になることが私たちの目標です。この特集では、興研の研究開発についてご紹介します。

第7回 フィット(密着性)の追求

● より安全に、より安心してマスクをご使用いただくために ●

マスクはフィットさせて使用することが重要

防じんマスクは、有害な粉じんの吸入を防ぐため、捕集効率の高いフィルタを使用し、また、防毒マスクは有毒ガスの吸入を防ぐため、ガスの種類、濃度に応じた吸収缶を付けて使用します。

その使用に当たっては、「正しいマスクを選択する」ことに加え、「マスクを顔にしっかり密着(フィット)させて使用する」ことが重要です。マスクが顔にフィットせず、マスクと顔の間にすき間があれば、そこから粉じんやガスが漏れ込む恐れがあり、それでは、マスクを装着する意味がありません。

興研のマスクには、顔にしっかりフィットさせ、有害物質の漏れ込みを防ぐための様々な技術が取り入れられています。

漏れ込みを防止するための様々な技術

<フィット性にこだわった接顔部>

・シリコン面体

シリコンは肌への刺激が少なく、肌荒れしにくい素材です。表情の動きにもしなやかに追従し、安定して装着できます。物性としても安定しています。

・フリーポジションアンダーチン構造

密着性を追求した特殊な接顔形状。漏れ込みが起りやすい鼻の付け根に合わせてからアゴ部を装着することにより、1つの面体で色々な大きさの顔にフィットさせることができます。



顔の大きい人 接顔部外側でフィット
顔の小さい人 接顔部内側でフィット

・HAWCリップ

当社独自の吸盤効果を生む広く柔軟なリップと特殊カーブの接顔部形状「High Adaptable Wide Concave」リップを採用。高気密のほか、高視界、軽量も実現しています。

・FFリップ

当社の使い捨て式防じんマスク「ハイラック」シリーズには、多くの人の顔の大きさや形に合いやすい形状を持つFFリップが付属しています。面積が広くしなやかなFFリップは、密着性が高く、顔の動きに追従しやすい設計のため、顔に自然になじんで「ぴったりフィット」を実現します。

<その他の技術・工夫>

・頭ひも

頭の形状に合わせた3次元立体形ポリバンドのしめひも採用。すっぽりと頭に納まり、フィット性をさらに向上させます。

・伝声器

面体内部に位置した伝声器は、マスクを装着したままでの会話や指示の伝達が可能です。電池は用いていません。

・フィットチェッカー内蔵

フィットチェッカー内蔵タイプのマスクは、いつでも素早くフィットの状態を確認することができます。



フィットテストの推進

正しいマスクを選択しても、マスクの装着が不慣れな着用者は、正しく装着したつもりでもフィット状態が好ましくない場合があります。また装着に慣れた着用者でも、同様の場合があります。

マスクの漏れは、フィットテスト用の機器等で確認することができます。当社では長年フィットテストの啓発活動を推進しており、定量的フィットテストをご体験いただいた方は48万人を超えています。

金属アーク溶接等作業を継続的に行う屋内作業場では、2023年4月から、面体形の呼吸用保護具を使用する作業者について、1年以内ごとに1回のフィットテストを実施することが義務付けられます。



定量的フィットテスト



定性的フィットテスト

より安全に、より安心してご使用いただくための研究・活動は続く

当社は今後も、フィット性能向上のための研究及びフィットの重要性を伝える活動を継続してまいります。



先進技術センター 基礎研究所 人間工学研究室
日本人の顔形のデータ収集、主成分分析など実用性能やフィット性能の研究を行っています。

株主メモ

事業年度 1月1日～12月31日
定時株主総会 3月
基準日 12月31日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の
口座管理機関 同上
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 東京証券取引所 (JASDAQ)
公告の方法 当社ホームページに掲載
<https://www.koken-ltd.co.jp/>
ただし、やむを得ない事由にて電子公告が行えない場合は、日本経済新聞に公告いたします。

各種手続きについて

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、口座管理機関の三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。（お問い合わせ先）
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・連絡先 0120-232-711 (フリーダイヤル)
・ホームページ <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

当社のホームページから最新の会社情報や決算短信など詳細なIR情報をご覧いただけます。ぜひご利用ください。

<https://www.koken-ltd.co.jp/>



トップページ



IR情報サイト

クリーン、ヘルス、セーフティで社会に

 **興研株式会社**

〒102-8459 東京都千代田区四番町7番地

株主様向け
アンケート

株主の皆様のお声を お聞かせください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせたいため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。
(所要時間は5分程度です)

①下記URLにアクセス

②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示



<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 7963

……以下の方法でもアンケートにアクセスできます……



検索窓から



kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信

「件名」「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。



スマートフォンから

カメラ機能でQRコード読み取り→

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を
進呈させていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションスの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

アンケートのお問い合わせ [\[e-株主リサーチ事務局\]](mailto:info@e-kabunushi.com)
MAIL: info@e-kabunushi.com (2201)

招集ご通知に関するお知らせ

次回(2023年3月以降)株主総会から株主総会資料は電子提供となります。書面での受領をご希望される株主様は、口座を開設している証券会社または、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行まで申し出ください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。